



井原市立芳井小学校での1人1台端末の活用状況を取材しました

【概要】

1人1台端末が整備され、授業等で活用が始まりました。芳井小学校では、教師が「まずは使ってみよう」ということで定期的に情報を共有し、「楽しさを子どもたちと一緒に」を合言葉に授業づくりなどに取り組まれている様子をお聞きました。

活用していたICT環境は、①1人1台端末（Chromebook）②Google Workspace for Education Fundamentals（Classroom、Jamboard、Slides）③学びポケット ④デジタル教科書（国語）⑤タブレットドリル。

【教育の情報化の推進に関する活用のポイント】

A 教科指導における活用

1 カメラ機能を活用し、記録の蓄積、振り返りに活用している。

- ・生活科の学習で、「カメラ」機能を用いて写真を撮り、植物の成長をじっくり観察している。成長の様子等の記録を蓄積することで、振り返りにも有効である。
- ・「理科」では、動画機能を活用し、天気の変化などの観察をしたり、「図工」では、鑑賞の時間に友達の作品を写真に撮り、自分の席で鑑賞を行ったりして活用している。



2 グループ学習の際には、Jamboardで共有している。

- ・「特別の教科 道徳」では、Jamboardに自分の意見を書き込むことで、互いの考えや意見を共有している。瞬時に友達の考えを知ることができ、自分の考えに自信を持ったり、考えの幅が広がったりすることが期待できる。



3 Slidesを使ってまとめ、発表も行っている。

- ・4年生の「社会科」の授業で、ごみについて学習したことをSlidesを使ってまとめ、発表している。また、他の学年の前でも、自分たちで接続等をし、発表することができる。



4 「デジタル教科書」とJamboardの活用で授業を展開している。

- ・4年生「国語」の単元において、デジタル教科書を使用して学習している。デジタル教科書に直接書き込んだり、出てきた意見をJamboardやマイ黒板を使ってグループや個人でまとめたりしている。



